

2024年3月期 第2四半期 決算説明 資料

誇れる歴史がある
創りたい未来がある

株式会社 浅 沼 組

東証プライム市場

(証券コード：1852)



1. 業績（2024年3月期 第2四半期）	
（1）実績・進捗（連結）	P. 3
（2）受注の内訳	P. 4
2. 中期3ヵ年計画の進捗状況	
（1）維持・修繕事業（リニューアル）	P. 5
（2）生産労働人口の減少への対応	P. 8
（3）非財務経営活動（E S G ・ S D G s 等）	P. 9
3. Topics	P. 11

1. 業績（2024年3月期 第2四半期）



（1）実績・進捗（連結）

- ① 2024/3期2Qは、好調な受注環境を背景に受注高は堅調。また工事が順調に進捗し売上高も前期比・計画比共にプラス。売上総利益以下については、資材高による利益率低下により前期比減益なるも、シンガポール子会社の好調な業績が寄与し計画は達成
- ② 2024/3期通期については、固定資産の譲渡による特別利益⁽¹⁾を計上予定であり、通期計画達成見込み

主要項目 (連結) (単位：百万円)	2022/3期			2023/3期			2024/3期				
	2Q 実績	通期 実績	2Q 進捗(%)	2Q 実績	通期 実績	2Q 進捗(%)	① 2Q 実績	前期比	計画比	② 通期 計画	2Q 進捗(%)
受注高	59,047	136,568	43.2	68,318	144,743	47.1	85,229	16,910	1,929	144,700	58.9
売上高	59,689	135,478	44.0	66,888	144,436	46.3	70,040	3,152	5,070	141,800	49.4
売上 総利益	5,720	13,444	42.5	6,760	15,139	44.6	6,276	△483	6	13,950	45.0
売上 総利益率	9.6%	9.9%	—	10.1%	10.5%	—	9.0%	△1.1P	△0.7P	9.8%	—
販管費	4,209	8,609	48.8	4,594	9,447	48.6	4,691	96	△48	9,850	47.6
営業利益	1,511	4,835	31.2	2,165	5,691	38.0	1,585	△580	55	4,100	38.7
四半期利益/ 当期純利益	956	3,748	25.5	2,135	4,200	50.8	1,101	△1,034	246	4,540	24.3
配当	—	363円 ⁽²⁾	—	—	191円	—	—	—	—	197.5円	—
配当性向	—	78.1%	—	—	73.3%	—	—	—	—	70.2%	—

(1) 2023年11月8日付「固定資産の譲渡および特別利益（固定資産売却益）の計上に関するお知らせ」の内容は通期計画に織り込み済

(2) 当社は、2022年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2022年3月期については、分割前の実際の配当金を記載しております。

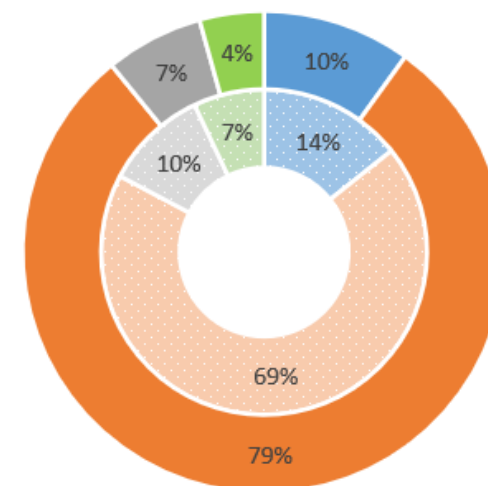
1. 業績（2024年3月期 第2四半期）

（2）受注の内訳

- ① 国内（当社単体）の受注は堅調に積み上がっており、特に工場・倉庫等の建築の民間が主導
- ② シンガポール子会社にて大型工事受注もあり、海外子会社も前年同期比増加

受注実績 (単位：百万円)		2023/3期	2024/3期	
		2 Q実績	2 Q実績	前年同期比
国内 (当社単体)	建 築	52,299	68,388	16,089
	官庁	9,040	7,638	△1,402
	民間	43,258	60,749	17,491
	土 木	10,917	8,352	△2,565
	官庁	6,480	5,042	△1,438
	民間	4,437	3,309	△1,127
	建築・土木 計	63,217	76,740	13,523
	官庁	15,521	12,680	△2,840
	民間	47,695	64,059	16,364
海外子会社		5,101	8,488	3,386
連 結		68,318	85,229	16,910

■ 建築官庁 ■ 建築民間 ■ 土木官庁 ■ 土木民間



円グラフ：個別受注状況
 外側：2024/3期 2 Q
 内側：2023/3期 2 Q

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(1) 維持・修繕事業（リニューアル） ① 2024年3月期 第2四半期実績



- ASEANリニューアル関連子会社業績が堅調に推移し、目標である「中期3ヵ年計画最終年度（当期）における建築リニューアルの営業利益を連結営業利益の35%以上」は達成見込み
- 国内においても大口受注あり2Q時点で通期計画ほぼ達成。今後PLに寄与する見込み

建築リニューアル（国内外合計） 営業利益（2Q）実績

（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期	2024/3期			
	2Q実績	2Q実績	2Q実績	前期比	通期計画	進捗率
営業利益	762	480	1,106	626	1,443	76.6%
営業利益シェア	50.4%	22.2%	69.8%	—	35.2%	—
内、国内 建築リニューアル						
受注高	8,817	10,789	19,600	8,811	20,000	98.0%
完成工事高	8,313	6,670	8,219	1,549	18,300	44.9%
営業利益	768	230	345	115	1,120	30.8%
営業利益シェア	50.8%	10.6%	21.8%	—	27.3%	—
内、ASEANリニューアル ⁽²⁾						
受注高	691	5,101	8,488	3,386	9,700	87.5%
完成工事高	842	4,182	4,647	465	10,000	46.4%
営業利益 ⁽¹⁾	△6	250	761	510	323	235.6%
営業利益シェア	△0.4%	11.6%	48.0%	—	7.9%	—

(1) ASEAN子会社ののれん償却費等を含む

(2) 2023/3期のASEANリニューアル業績は 2022年1月にEVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD.を子会社化したことにより増加

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(1) 維持・修繕事業（リニューアル）②『ReQuality』ブランドの推進



- 独自技術を用いたリニューアルによる付加価値をアピールした営業を推進中
- リニューアル事業のモデルケースである当社名古屋支店の改修が新たにシンガポールでも受賞

独自技術を用いたリニューアル提案

高度なRC調査診断技術

- ・ 簡易な調査で当社独自の評価基準にて診断、適切な改修方法を提案し、コスト減にも寄与



西多賀幼稚園様(宮城県仙台市)のRC調査診断作業の様子

調査診断技術の詳細はこちら



<https://www.requality.jp/service/advance/133/>

還土ブロック

- ・ 建設残土を用いたブロック「還土ブロック」を利用した施工



JR西日本プロパティーズ株式会社様（兵庫県神戸市）事務所ビル受付に設置の様子



還土ブロックの詳細はこちら



<https://www.requality.jp/service/advance/140/>

当社名古屋支店改修プロジェクトがシンガポールのグッドデザイン賞を受賞

- ・ 名古屋支店改修PJがシンガポールのグッドデザイン賞にあたる「SGマーク」のサステナブルデザイン部門において受賞



名古屋支店改修PJの詳細はこちら



<https://www.requality.jp/works/145/>

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(1) 維持・修繕事業（リニューアル） ③ASEAN地域での事業強化

- 2社のシンガポール子会社の業績が好調であり、通期計画における進捗が堅調推移
- タイでは炭素繊維シートによる橋等の補強事業を引き続き推進（JICA支援事業に認定）

シンガポール

買収 子会社名	SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.					EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD.				
買収時期	2018年10月					2022年1月				
事業内容	リニューアル工事、建物塗装					建物メンテナンス、電気・設備工事、リニューアル				
業績	2023/3期	2024/3期				2023/3期	2024/3期			
	2 Q実績	2 Q実績	前期比	通期計画	進捗率(%)	2 Q実績	2 Q実績	前期比	通期計画	進捗率(%)
受注高	2,074	6,538	4,464	5,600	116.7	3,027	1,949	△1,077	4,100	47.5
売上高	1,370	2,492	1,121	4,700	53.0	3,487	2,972	△515	5,300	56.1
営業利益	11	149	138	110	135.5	411	799	388	560	142.8
のれん等	17	18	—	—	—	155	169	—	—	—

タイ

子会社名： Thai Asanuma Construction Co.,Ltd.

設立時期： 2021年7月

事業内容： 高速道路・橋梁のメンテナンス

- ・ 東レ株式会社、東レインターナショナル株式会社と協働し、炭素繊維シートによる橋・高架橋の補強事業を推進中
- ・ 2021年にJICA SDGsビジネス支援事業に採択され、受注獲得へ営業を強化中
- ・ パイロット事業としてタイ現地にて高架橋の断面補修及び炭素繊維シート補強工事を実施



第1回パイロット事業を実施

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

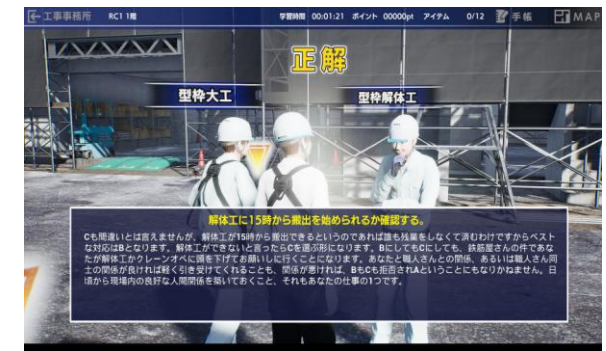
(2) 生産労働人口の減少への対応 DX推進

■ バーチャル現場体験型の施工管理教育システム「現場トレーナー」を他社と共同開発。 若手社員の施工管理に関する教育をDXにて拡充

- ・ バーチャルな現場内で現場社員アバターを操作し、問題点や注意すべき点等を発見、クイズ形式で学習
- ・ 各OSやタブレットに対応した製品をリリースし、若手社員の教育をDXにて拡充

バーチャルな現場内を歩きながら学習する「アドベンチャーパート」の経験を積むと、
レベルに合わせた設問のみで学習する「ドリルパート」を行うことができる

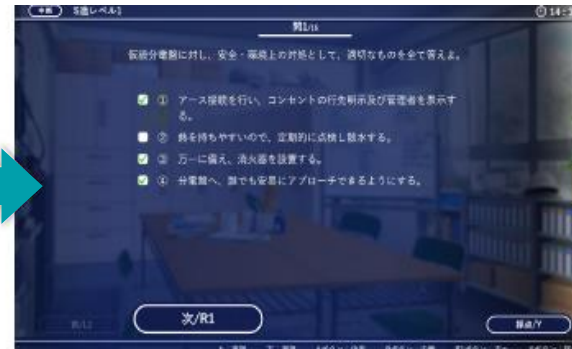
アドベンチャーパート



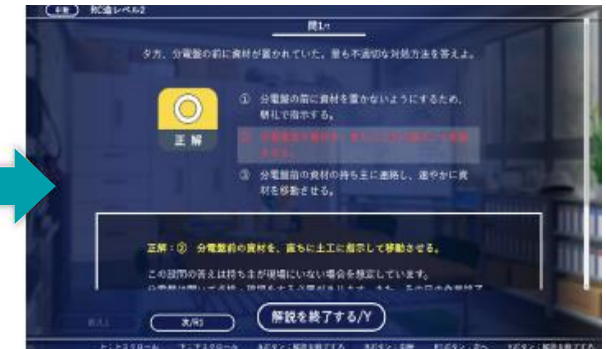
ドリルパート



現場内でドリル開始



設問・解答画面



採点・解説画面

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(3) 非財務経営活動(ESG・SDGs等) 環境への取り組み

- 2022年度のスコップ1・2におけるCO₂削減実績を鑑み、本年8月に目標を引き上げ（表1）
- 今年度より新たに追加したスコップ3カテゴリ11のCO₂削減目標達成に向け、引き続き推進中

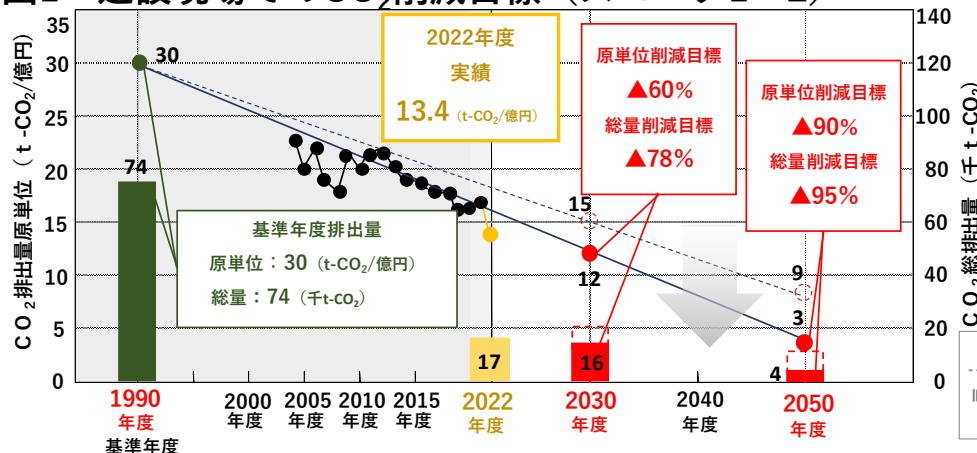
表1 CO₂削減目標一覧

対象	単位	基準年度		実績	目標年度	
		年度	排出量		2030年度	2050年度
スコップ1/2 (建設工事のみ対象)	原単位	t-CO ₂ /億円 ⁽¹⁾	1990 30	13.4 ▲55%	12 ▲60%	3 ▲90%
	総量	t-CO ₂	1990 74,193	17,000 ▲77%	16,322 ▲78%	3,710 ▲95%
スコップ3 カテゴリ11 (自社設計+他社設計)	総量	t-CO ₂	2021 693,428	647,430 ▲6%	589,414 ▲15%	450,728 ▲35%

2022年度の実績を鑑み、
スコップ1・2の
2030年度・2050年度の
目標を8月に引き上げ

(1) 完工高1億円当たりの排出量

図1 建設現場でのCO₂削減目標（スコップ1・2）



《参考》CO₂のカテゴリ

スコップ1：事業活動で発生するCO₂

スコップ2：電気ガスの使用による間接排出のCO₂

スコップ3：お客様にお引渡しした建築物の
カテゴリ11 使用時に排出されるCO₂

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(3) 非財務経営活動(ESG・SDGs等) 社会貢献活動

- 社会貢献活動の一環として、障がい者スポーツに援助
- 2018年から日本身体障害者野球連盟へ協賛。9月に5年振りに開催された世界大会にも協賛
- 2018年から協賛を開始した日本ブラインドテニス連盟へも継続的に協賛を実施

当社の社会貢献活動方針

私たちは、社会の一員として社会のあるべきかたちの実現のため、社員一人一人が社会的責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進していきます。



第5回世界身体障害者野球大会
WORLD DREAM BASEBALL 2023

日本ブラインドテニス連盟の加盟団体である
近畿ブラインドテニス協会主催
第6回まいどおきに！フレンドリーカップ！

4. Topics

大和ハウス
DPL新横浜Ⅲが完成
3.5万²m、設計・施工浅沼組

大和ハウス工業が「DPL新横浜プロジェクト」として2020年7月から横浜市都筑区に整備してきた3棟のマルチテナント型物流施設のうち、最後の1棟となる「DPL新横浜Ⅲ」が9月29日に完成した。Ⅲは延べ約3・5万平方メートル、プロジェクト全体ではI・II棟総延べ約23・3万平方メートルになる。羽田空港（東京都大田区）や横浜港にも近く、輸出入拠点としての役

全棟竣工したDPL新横浜プロジェクト。右からⅠ、Ⅱ、Ⅲ（報道発表資料から）



全3棟のうち当社が2棟施工

割が期待される。

Ⅲの所在地は川向町2001の14ほか。建物は柱RC梁S一部S造6階建て延べ3万5470平方メートルの規模。設計・施工は浅沼組が担当した。

設計・施工で竣工した。Ⅱ（延べ9万8589平方

棟)とBCP(事業継続計画)対応として免震・耐震構造を採用し、非常用蓄電池も完備。Iには太陽光発電システムを搭載済みで、II、III各棟にも今後搭載する予定。

IとIIは、多様な労働者の確保のためオールジェンダートイレや祈とう室を設けたほか、テナント企業従

業員向けの保育施設やカフェテリアを備える。

3 棟の総敷地面積は9万8009平方 m^2 。首都高速湾岸線横浜港北出入口から約100 m 、第三京浜道路路港北1Cから約300 m に立地し、都心部だけでなく、首都圏や東海エリアへの配送にも対応可能。羽田空港や国際コンテナ戦略港湾の横浜港に車で30分以内アクセスでき、輸出入の拠点にもなる。

現場トレーナーを6月リリース

現場トレーナー製作委員会

[illegible]

本システムを考案した浅沼組の松井亮夫本社長室技術研究所調査研究グループでは「気づくことから」を中心にした現場の問題発見能力は、

ある程度経験を積まないと身



先進産業科学技術大学院大学



バーチャル空間でノウハウ取得

い、やがて、津層へ入ると、
屋敷の奥庭に、池に臨み、
まわって、クワ形式の明
木に回付、クワ形式のテ
リアについて、
松井、監理、現場に安全
の重要要素がある。何れ
の問題が起るとは、それ
の中から最先設備付は、
処する必要がある。決ま
るならば、状況に、優
先順位を定めるため、ベ
リを判断することが大
に、それと、
例え現場で、
事象の発生、16時、型
の搬出、16時、型解
定があり、鉄筋のドラ
の到着が、
との短絡して、A「定
の15時に着いたが、
悪いので、
「B」型、
時から、
から、
時から、
Bが正と、
Bが正と、
Bが正と、



現場の中でさまざまなイベントが
発生し問題を解決していく
とポイントが付与され、ラン

[illegible]

2023年5月31日 日刊建設通信新聞

2023年10月6日 日刊建設通信新聞

神奈川県横浜港北エリアにて、物流倉庫を建設し、社会のニーズに応える

The logo for Asanuma, featuring a stylized blue 'A' with a red dot above it.

株式会社 浅沼組

お問合せ先

コーポレート・コミュニケーション部

T e l 06-6585-5500 F a x 06-6585-5556

はこ
誇れる歴史がある
つくりたい未来がある



浅沼組CSRレポート2023

<https://www.asanuma.co.jp/csr/report.html>

